

庄内総合支庁産業経済部
酒田農業技術普及課〒998-0857
酒田市若浜町1-40
TEL0234(22)6521
FAX0234(22)6522


普及のひろば

人工衛星画像を活用して「つや姫」の安定生産を!

人工衛星画像による「つや姫」の生育診断の活用を進めています。診断マップの活用方法をJA指導員と共有し、生産現場で有効性を実感していただけるよう取り組んでいます。

昨秋からは新しく刈取適期マップも追加されました。来年度の栽培に向けて、冬期間に今年度の生育をチェックしてみませんか？



スマート農業技術を活用して 新たな取組みにチャレンジ!

酒田農業技術普及課 課長補佐 佐藤 眞一

皆様、明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、近年は上段で紹介した人工衛星画像を活用した水稻の生育解析による穂肥施用診断技術をはじめ、多くのスマート技術が農業に活用されています。例えば、当課管内においては、スマートフォン・パソコンによる各圃場の作業進捗状況の管理システムや、園芸ハウスの温度・土壌水分のモニタリングによる栽培環境の見える化、トラクターのGPSを活用した自動操舵、草刈りロボット、水田への自動給水等の導入があります。

これらのスマート農業技術は、農業の担い手不

足が進んでいる中、農作物の適正な栽培管理や省力化につながります。また、一方では、農業経験が少ない新規就農者でも先進的な農業者の栽培管理技術に近づくことができ、安定した収量・品質や収入を確保する目当てが体得できるなど、農業の新たな魅力を生み出す可能性も秘めています。

経営目標に応じてスマート農業技術を上手に使いこなし、新たな取組みにチャレンジしてみたいかがでしょうか。当課では、各種研修会や個別の相談等によりスマート農業技術の導入を応援して参ります。また、スマート農業技術導入の前提条件として、各作物の生理生態や基本的な栽培技術の習得並びに経営管理能力の向上についても支援して参ります。

結びに、今年1年、皆様にとって健康で、実りある良い年となることを御祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



令和4年度 普及活動の 取組状況

～人づくり、^かち^ち魅力づくりを
推進しています～

作物



「つや姫」「雪若丸」現地検討会(令和4年6月)

気象変動に負けない 「つや姫」「雪若丸」の安定生産を!

令和4年は、6月の低温、8月の極端な日照不足など、水稻生育の重要な時期に気象変動の激しい年となりました。冬季の栽培研修会では、健苗育成、深耕、適期中干し、ケイ酸追肥等に重点をおき、どんな気象でも安定した作柄を確保できるよう取り組みます。

野菜



農業経営実践講座多収栽培コース(令和4年6月)

夏メロン日本一の維持と更なる 産地強化に向けた支援

多収栽培を学ぶ農業経営実践講座の開催など、メロンの産地強化に向けた支援を行っています。「庄内砂丘メロン研修大会2023」が、令和5年1月25日三川町いろり火の里で開催。他産地の動向、多収栽培や果実肥大促進の技術等情報満載です。

花き



消費地の市場関係者に対する求評活動(令和4年10月)

ストック栽培の省力化と 商品化率向上に向けて

オールダブル系品種導入によって、砂丘地の直播栽培における八重鑑別作業の省力化と商品化率の向上を目指しています。適応性の高い品種について、流通関係者・小売店への求評を行うとともに、栽培指標を作成し、栽培志向者に提供予定です。

【仲間】農業青年クラブ「酒田アグラー」【募集中】

酒田アグラーは、酒田市と遊佐町の農業者合計9名で視察研修や県内外の農業青年クラブとの交流会を実施しています。様々な農家と仲間づくりが行えるチャンスですので、是非この機会に入会をご検討ください！連絡は当課まで！



県農業青年クラブ研修会にて酒田アグラー会員の乾燥調製施設を視察(令和4年7月)

やまがた アグリネット

<https://agrin.jp/>

今年度リニューアルし、スマートフォンに対応する等、より使いやすくなりました。気象センサーと連携し、低温等の警報をメールでお知らせします。

やまがた
アグリネット



農薬の安全かつ適正な使用、飛散防止対策、保管管理を徹底しましょう!

果樹



収穫直前の打合せ(令和4年9月)

水稲育苗ハウス等を活用した「シャインマスカット」の産地育成!

ぶどう「シャインマスカット」の導入が進み、管内全域で収穫・出荷が始まりました。生産者は90人を超え、生育ステージ毎の講習会や園地巡回により栽培技術の研鑽を図りました。今年は、特に、適度な大きさの房作りや、粒張りの向上を実現するため新梢管理の習得を進めます。

畜産



現地検討会の開催(令和4年8月)

酒田市漆曾根 乾田直播圃場(令和4年9月)

国産飼料の生産・利用拡大に向けて!

県オリジナル稲WCS用茎葉型品種「山形飼糯138号」の種子供給が令和4年から始まり、管内で20ha作付けされました。実証圃で得られた直播栽培での多収成績を年度内に解析し、省力化と安定多収に向けた栽培体系の定着を進めます。

経営



法人研修会にてアンケート調査の結果を報告(令和4年10月)

農業者や農業法人を経営面から支援します!

当課では、研修会の開催や課題に応じた専門家アドバイザー派遣等を通じて、農業者や農業法人の経営力向上に取り組んでいます。新規就農希望者に対しては、相談者と面談を繰り返し行い、望ましい営農スタイルを提案しています。

加工



巻き方や油切りなどのコツを学んだ「手習い塾〜しそ巻編〜」(令和4年7月)

庄内の伝統的加工品の技術継承を支援

ベテラン農業者の「しそ巻」や「漬物」の作り方を学ぶ「手習い塾」を開催し、若手女性農業者から長年の経験による加工のポイントを体験できたと好評でした。今年も、様々な伝統的加工品の技術継承と新規加工者育成を支援していきます。

やまがたGAP 第三者認証取得で経営力強化!

本県では、今年度より国際水準GAPに準拠した「やまがたGAP」第三者認証(公益財団法人やまがた農業支援センター)が新たに始まりました。

株式会社加藤農園(代表取締役 加藤治彦氏 酒田市広野)は、やまがたGAPを取得し、特に農作業の安全性の取組みについて審査員の高い評価を受けました。



米の現地圃場にて(令和4年9月)

～令和4年の特徴的な天候～

- 4月上旬(降霜) かきで一部霜害散見、実害なし
- 4月下旬(低温) 日本なしで開花期に低温があり、人工受粉を徹底
- 6月上旬(低温・日照不足) 水稲の初期生育の不足
- 7月上旬(高温・多照) 水稲の籾数過多への影響
- 8月下旬(低温・日照不足) 水稲の登熟の低下への影響

農作業事故0を目指そう!!

1. 危険箇所の確認・改善を行いましょう。
2. 作業を中断するときは必ずエンジン停止!
3. 作業に適した服装を心がけましよう。
4. 作業の合間にしっかり休憩をとりましよう。
5. できるだけ複数で作業を行いましよう。

受賞おめでとうございます

✳️令和4年度山形県ベストアグリ賞 ～東北農政局長賞～

株式会社 和農日向 (酒田市)

中山間地域の集落営農型「株式会社」のパイオニアとして、デジタル機器の効率的な活用や、やまがたGAP認証による作業改善等を進め、稲WCSを経営の柱にして水田農業を確立し、地域の耕畜連携の発展方向を切り拓いています。



和農日向のみなさん

✳️第50回全国豆類経営改善共励会 大豆集団の部 全国農業協同組合中央会会長賞

農事組合法人 ビーンズ本楯 (酒田市)

大豆生産を地域で担う組織として、「里のほほえみ」の導入、飼料用米との輪作、排水対策、適期作業への工夫を行い、低コスト多収生産を実現しています。後継世代が育っていることも高く評価されました。



ビーンズ本楯のみなさん

新たに知事認定された農業士の皆さんを紹介します



【指導農業士】
さとう りか
佐藤 利佳 さん
(酒田市坂野辺新田)
水稻、花き、果樹ほか



【指導農業士】
さとう かずしげ
佐藤 利篤 さん
(酒田市石名坂)
水稻、そば、果樹



【指導農業士】
さとう とよかず
佐藤 豊和 さん
(酒田市中牧田)
水稻、そば、果樹

「東北農林専門職大学(仮称)」

令和6年4月開学に向けて設置認可申請中!

県では、将来の日本をけん引する農林業経営者を養成するため、「東北農林専門職大学(仮称)」の開学準備を進めています。農業・森林業の生産や経営、加工、販売等の知識と理論に裏付けられた技術を、講義だけでなく、県内外の先進経営体での長期実習など豊富な実習で学べる新しいタイプの大学です。県立農林大学校(新庄市)の敷地に校舎を新築中で、現在の高校二年生が第1期生となります。詳しくはQRコードからご覧ください。



新校舎の外観イメージ図

<https://www.ynodai.ac.jp/university/>



防除基準の購入について 「令和5年度山形県農作物病害虫防除基準」は山形県植物防疫協会が発行します。購入のお問い合わせは同協会まで直接お願いします。(TEL023-687-8700)